

教員の養成に係る授業科目、
授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画

芸術学部音楽学科

中学校教諭一種免許状（音楽）・高等学校教諭一種免許状（音楽）

1. 教科及び教科の指導法に関する科目

単 位 数	教育職員免許法 施行規則に 定める科目区分	左記に対応する開設授業科目						備考
		授業科目	単位数		免許対象科目		配当 年次	
			必修	選択	中学	高校		
中 学 28 単 位 以 上 高 校 24 単 位 以 上	ソルフェージュ	ソルフェージュA	1		○	○	1前	
		ソルフェージュB	1		○	○	1後	
		ソルフェージュC	1		○	○	2前	
		ソルフェージュD	1		○	○	2後	
	声乐(合唱及び日 本の伝統的な歌 唱を含む。)	合唱Ⅰ	1		○	○	1前	
		合唱Ⅱ	1		○	○	1後	
		合唱Ⅲ	1		○	○	2前	
		合唱Ⅳ	1		○	○	2後	
		日本の伝統歌唱	1		○	○	2後	
		実技演奏法Ⅰ(主専攻・声乐)		3	○	○	1前	
		実技演奏法Ⅱ(主専攻・声乐)		3	○	○	1後	
		実技演奏法Ⅲ(主専攻・声乐)		3	○	○	2前	
		実技演奏法Ⅳ(主専攻・声乐)		3	○	○	2後	
		実技演奏法Ⅰ(副専攻・声乐)		2	○	○	1前	
		実技演奏法Ⅱ(副専攻・声乐)		2	○	○	1後	
		実技演奏法Ⅲ(副専攻・声乐)		2	○	○	2前	
		実技演奏法Ⅳ(副専攻・声乐)		2	○	○	2後	
		実技演奏法Ⅰ(副科・声乐)		1	○	○	1前	
		実技演奏法Ⅱ(副科・声乐)		1	○	○	1後	
		実技演奏法Ⅲ(副科・声乐)		1	○	○	2前	
	実技演奏法Ⅳ(副科・声乐)		1	○	○	2後		
	器楽(合奏及び伴 奏並びに和楽器 を含む。)	和楽器	1		○	○	2前	
		伴奏法Ⅰ	1		○	○	1前	
		伴奏法Ⅱ	1		○	○	1後	
		伴奏法Ⅲ	1		○	○	2前	
		伴奏法Ⅳ	1		○	○	2後	

	実技演奏法Ⅰ（主専攻・ピアノ）		3	○	○	1前	2単位以上 選択必修	
	実技演奏法Ⅱ（主専攻・ピアノ）		3	○	○	1後		
	実技演奏法Ⅲ（主専攻・ピアノ）		3	○	○	2前		
	実技演奏法Ⅳ（主専攻・ピアノ）		3	○	○	2後		
	実技演奏法Ⅰ（副専攻・ピアノ）		2	○	○	1前		
	実技演奏法Ⅱ（副専攻・ピアノ）		2	○	○	1後		
	実技演奏法Ⅲ（副専攻・ピアノ）		2	○	○	2前		
	実技演奏法Ⅳ（副専攻・ピアノ）		2	○	○	2後		
	実技演奏法Ⅰ（副科・ピアノ）		1	○	○	1前		
	実技演奏法Ⅱ（副科・ピアノ）		1	○	○	1後		
	実技演奏法Ⅲ（副科・ピアノ）		1	○	○	2前		
	実技演奏法Ⅳ（副科・ピアノ）		1	○	○	2後		
	器楽合奏Ⅰ （吹奏楽・オーケストラ）		2	○	○	1前		いずれか 1科目 選択必修
	器楽合奏Ⅰ （弦楽合奏・オーケストラ）		2	○	○	1前		
	器楽合奏Ⅰ（電子オルガン・ ハイブリッドオーケストラ）		2	○	○	1前		
	器楽合奏Ⅱ （吹奏楽・オーケストラ）		2	○	○	1後		
	器楽合奏Ⅱ （弦楽合奏・オーケストラ）		2	○	○	1後		
	器楽合奏Ⅱ（電子オルガン・ ハイブリッドオーケストラ）		2	○	○	1後		
指揮法	指揮法	2		○	○	2前		
	合唱指導法	2		○	○	2後		
音楽理論・作曲 法（編曲法を含 む）・音楽史 （日本の伝統音 楽及び諸民族の 音楽を含む。）	音楽史A	2		○	○	2前		
	和声法Ⅰ	2		○	○	2前		
	和声法Ⅱ	2		○	○	2後		
	民族音楽Ⅰ	2		○	○	2前		
	作曲・編曲法Ⅰ		2	○	○	1前	いずれか 1科目 選択 必修	
	作曲・編曲実技・ サウンドクリエイションⅠ		3	○	○	1前		
	作曲・編曲法Ⅱ		2	○	○	1後	いずれか 1科目 選択 必修	
	作曲・編曲実技・ サウンドクリエイションⅡ		3	○	○	1後		

各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含む。)	音楽史B		2	○	○	2後	
	楽曲分析I		2	○	○	3前	
	楽曲分析II		2	○	○	3後	
	民族音楽II		2	○	○	2後	
	音楽教育法A	2		○	○	2前	
	音楽教育法B	2		○	○	2後	
	音楽教育法C	2		○	○	3前	
	音楽教育法D	2		○	○	3後	

2. 教育の基礎的理解に関する科目等

単位数	教育職員免許法施行規則に 定める科目区分		左記に対応する開設授業科目					
			授業科目	単位数		配当 年次	免許対象科目	
				必修	選択		中学	高校
中学 27 単位 高校 23 単位 以上	教育の 基礎的 理解に 関する 科目	教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想	教育原理	2		1前	○	○
		教職の意義及び教員の役 割・職務内容(チーム学校 運営 への対応を含む。)	教師論	2		1前	○	○
		教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項(学 校と地域との連携及び学 校安全への対応を含む。)	教育制度論	2		3前	○	○
		幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		2前	○	○
		特別の支援を必要とする 幼児、児童及び生徒に対 する理解	特別支援教育論	1		1後	○	○
		教育課程の意義及び編成 の方法(カリキュラム・マ ネジメントを含む。)	教育課程論	2		2後	○	○
中 学 10 高 校	道徳、総 合的な 学習の 時間等 の指導 法及び	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論 と実践	2		2前	○	
		総合的な学習の時間の指 導法	特別活動及び総 合的な学習の時 間の指導法	2		3後	○	○
		特別活動の指導法						

8	生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法	2		1前	○	○
		生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	2		1後	○	○
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の基礎と方法	2		2前	○	○
中学5 高校3	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導	1		3-4 通年	○	○
			教育実地研究	4		4通年	○	○
2		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		4後	○	○

備考

- 1 「道徳教育の理論と実践」は中学校教諭一種免許状では「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目であり、高等学校教諭一種免許状では「大学が独自に設定する科目」となります。

3. 大学が独自に設定する科目

単位数	対応する開設授業科目					
	授業科目	単位数		配当年次	免許対象科目	
		必修	選択		中学	高校
中学4単位 高校12単位	介護等体験	1		3通年	○	○

備考

- 1 残りの単位は「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」から修得すること。
- 2 高等学校教諭一種免許状では「介護等体験」に加え「道徳教育の理論と実践」が「大学が独自に設定する科目」に充当されます。

4. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

単位数	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目					
		授業科目	単位数		配当年次	備考	
			必修	選択			
8 単 位	2	日本国憲法	日本国憲法	2		1 後	
	2	体育	健康スポーツ学 A (体育理論)	1		1 前	
			健康スポーツ学 B (体育実技)	1		1 前後	
	2	外国語コミュニケーション	英語基礎 I	1		1 前	
			英語基礎 II	1		1 後	
	2	情報機器の操作	文書実務 (Word)	1		1 前	
			情報処理演習 A (Excel)	1		1 後	

芸術学部美術学科

中学校教諭一種免許状（美術）・高等学校教諭一種免許状（美術）

1. 教科及び教科の指導法に関する科目

単位数	教育職員免許法 施行規則に 定める科目区分	左記に対応する開設授業科目						
		授業科目	単位数		免許対象科目		配当年次	備考
			必修	選択	中学	高校		
中学 28 単位以上 高校 24 単位以上	絵画（映像メディア表現を含む。）	共通基礎 A	6		○	○	1 前	
		共通基礎 C	4		○	○	1 前後	
		専門基礎 A	6		○	○	2 前	
		教職絵画	2		○	○	1 後	
		映像メディア表現	2		○	○	2 後	
		シルクスクリーン		2	○	○	2 前後	いずれか 1 科目 選択必修
		リトグラフ		2	○	○	2 前	
		イラストレーション		2	○	○	3 前	
	彫刻	教職彫刻	2		○	○	1 前	
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	共通基礎 B	6		○	○	1 後	
		専門基礎 B	6		○	○	2 後	
		教職デザイン	2		○	○	1 前	
		コンピュータ造形	2		○	○	1 前	
		フォトグラフィ		2	○	○	2 前後	
		Web デザイン（応用）		2	○	○	3 後	
	工芸	テキスタイル	2		○	△	2 前後	
		教職陶芸	2		○	△	3 前	
	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	西洋美術史 A	2		○	○	1 前	
		日本美術史 A	2		○	○	2 前	
		コンテンポラリーアート	2		○	○	2 前	
		仏教美術	2		○	○	3 前	
		美術概論	2		○	○	2 後	
		西洋美術史 B		2	○	○	1 後	
		日本美術史 B		2	○	○	2 後	
		デザイン概論		2	○	○	1 前	
		色彩学		2	○	○	1 前	
		情報デザイン論		2	○	○	2 前	
		感性デザイン論		2	○	○	2 後	
北海道の美術			2	○	○	3 前		

各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を 含む。)	美術教育法A	2	○	○	2前	
	美術教育法B	2	○	○	2後	
	美術教育法C	2	○	○	3前	
	美術教育法D	2	○	○	3後	

※科目区分「工芸」の授業科目は高等学校教諭一種免許状の単位に充てることはできません。

2. 教育の基礎的理解に関する科目等

単位数	教育職員免許法施行規則に 定める科目区分		左記に対応する開設授業科目					
			授業科目	単位数		配当 年次	免許対象科目	
				必修	選択		中学	高校
中学 27 単位 高校 23 単位	教育の基 礎的理解 に関する 科目	教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想	教育原理	2		1前	○	○
		教職の意義及び教員の役 割・職務内容(チーム学校 運営 への対応を含む。)	教師論	2		1前	○	○
		教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項(学 校と地域との連携及び学 校安全への対応を含む。)	教育制度論	2		3前	○	○
		幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		2前	○	○
		特別の支援を必要とする 幼児、児童及び生徒に対 する理解	特別支援教育 論	1		1後	○	○
		教育課程の意義及び編成 の方法(カリキュラム・マ ネジメントを含む。)	教育課程論	2		2後	○	○
		中 学 10 高 校 8 単 位 以 上	道徳、総 合的な学 習の時間 等の指導 法及び生 徒指導、 教育相談 等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理 論と実践	2		2前
総合的な学習の時間の指 導法	特別活動及び 総合的な学習 の時間の指導 法			2		3後	○	○
特別活動の指導法								
教育の方法及び技術(情 報機器及び教材の活用を 含む。)	教育方法			2		1前	○	○

		生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2	1 後	○	○
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の基礎と方法	2	2 前	○	○
中学 5 高校 3	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導	1	3-4 通年	○	○
			教育実地研究	4	4 通年	○	○
2		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 後	○	○

備考

- 1 「道徳教育の理論と実践」は中学校教諭一種免許状では「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目であり、高等学校教諭一種免許状では「大学が独自に設定する科目」となります。

3. 大学が独自に設定する科目

単位数	対応する開設授業科目					
	授業科目	単位数		配当年次	免許対象科目	
		必修	選択		中学	高校
中学 4 単位 高校 12 単位	介護等体験	1		3 通年	○	○

備考

- 1 残りの単位は「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」から修得すること。
- 2 高等学校教諭一種免許状では「介護等体験」に加え「道徳教育の理論と実践」が「大学が独自に設定する科目」に充当されます。

4. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

単位数	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目					
		授業科目	単位数		配当年次	備考	
			必修	選択			
8 単 位	2	日本国憲法	日本国憲法	2		1 後	
	2	体育	健康スポーツ学 A (体育理論)	1		1 前	
			健康スポーツ学 B (体育実技)	1		1 前後	
	2	外国語コミュニケーション	英語基礎 I	1		1 前	
			英語基礎 II	1		1 後	
	2	情報機器の操作	文書実務 (Word)	1		1 前	
			情報処理演習 A (Excel)	1		1 後	

社会学部地域社会学科

中学校教諭一種免許状（社会）

高等学校教諭一種免許状（公民）

1. 教科及び教科の指導法に関する科目

中学校教諭一種免許状（社会）

単位数	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				高等学校教諭一種免許状（公民）共通
		授業科目	単位数		配当年次	
			必修	選択		
28 単 位 以 上	日本史・外国史	日本の歴史	2		2 後	
		西洋史	2		3 前	
		東洋史	2		3 後	
		北海道の歴史		2	3 前	
	地理学（地誌を含む。）	日本の地理	2		2 前	
		産業経済地理		2	2 後	
		北海道の地理		2	2 後	
	法律学、政治学	民法入門	2		2 前	○
		地域社会と政治	2		2 前	○
		法学入門		2	1 後	○
	社会学、経済学	市民社会と人間関係	2		1 前	○
		社会学基礎	2		1 後	○
		経済学入門	2		1 後	○
		子ども家庭福祉論	2		2 前	○
		地域社会論Ⅰ		2	1 前	○
		地域社会論Ⅱ		2	1 後	○
		欧米社会論		2	3 後	○
		現代社会と福祉		2	1 後	○
	哲学、倫理学、宗教学	哲学	2		1 後	○
		公共の倫理		2	2 前	○
		社会思想史		2	2 後	○
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会科教育法 A	2		2 前	○
		社会科教育法 B	2		2 後	○
		公民教育法 A	2		3 前	○
		公民教育法 B	2		3 後	○

高等学校教諭一種免許状（公民）

単位数	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				
		授業科目	単位数		配当年次	中学校教諭一種免許状（社会）共通
			必修	選択		
24 単 位 以 上	法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）	国際社会と法	2		3 後	
		国際社会と政治	2		3 前	
		民法入門	2		2 前	○
		地域社会と政治	2		2 前	○
		法学入門		2	1 後	○
	社会学、経済学（国際経済を含む。）	国際社会と経済	2		3 前	
		市民社会と人間関係	2		1 前	○
		社会学基礎	2		1 後	○
		経済学入門	2		1 後	○
		子ども家庭福祉論	2		2 前	○
		地域社会論Ⅰ		2	1 前	○
		地域社会論Ⅱ		2	1 後	○
		欧米社会論		2	3 後	○
	哲学、倫理学、宗教学、心理学	現代社会と福祉		2	1 後	○
		哲学	2		1 後	○
		公共の倫理		2	2 前	○
		社会心理学		2	2 後	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会思想史		2	2 後	○
		公民教育法 A	2		3 前	○
		公民教育法 B	2		3 後	○
		社会科教育法 A		2	2 前	○
		社会科教育法 B		2	2 後	○

2. 教育の基礎的理解に関する科目等

単位数	教育職員免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目					
			授業科目	単位数		配当年次	免許対象科目	
				必修	選択		中学	高校
10	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2		1前	○	○
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営 への対応を含む。）	教師論	2		1前	○	○
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2		3前	○	○
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		2前	○	○
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1		1後	○	○
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		2後	○	○
23	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2		2前	○	
		総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		3後	○	○
		特別活動の指導法						
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法	2		1前	○	○
		生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2		1後	○	○
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						

		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の基礎と方法	2		2前	○	○
中 学 5 高 校 3	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導	1		3-4 通年	○	○
			教育実地研究	4		4通 年	○	○
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		4後	○	○
2								

備考

- 1 「道徳教育の理論と実践」は中学校教諭一種免許状では「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目であり、高等学校教諭一種免許状では「大学が独自に設定する科目」となります。

3. 大学が独自に設定する科目

単位数	対応する開設授業科目					
	授業科目	単位数		配当年次	免許対象科目	
		必修	選択		中学	高校
中学 4 単位 高校 12 単位	介護等体験	1		3 通年	○	○

備考

- 1 残りの単位は「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」から修得すること。
- 2 高等学校教諭一種免許状では「介護等体験」に加え「道徳教育の理論と実践」が「大学が独自に設定する科目」に充当されます。

4. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

単位数	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目					
		授業科目	単位数		配当年次	備考	
			必修	選択			
8 単 位	2	日本国憲法	日本国憲法	2		1 後	
	2	体育	健康スポーツ学 A (体育理論)	1		1 前	
			健康スポーツ学 B (体育実技)	1		1 前後	
	2	外国語コミュニケーション	英語基礎 I	1		1 前	
			英語基礎 II	1		1 後	
	2	情報機器の操作	文書実務 (Word)	1		1 前	
			情報処理演習 A (Excel)	1		1 後	

短期大学部保育科
幼稚園教諭二種免許状

1. 領域に関する専門的事項及び領域及び保育内容の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目			
			授業科目	単位数		配当年次
				必修	選択	
領域に関する専門的事項	健康	12	幼児と健康	1		1前
	人間関係		幼児と人間関係	1		1後
	環境		幼児と環境	1		1前
	言葉		幼児と言葉	1		1前
	表現		幼児と表現	1		1前
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容総論	1		1前
			保育内容（健康）	1		2前
			保育内容（人間関係）	1		2前
			保育内容（環境）	1		2前
			保育内容（言葉）	1		1後
			保育内容（表現Ⅰ「音楽」）	1		2前
			保育内容（表現Ⅱ「美術」）	1		1後

2. 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目			
			授業科目	単位数		配当年次
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2		1前
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2		2後

	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学	2	1後
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育と保育(理論)	1	1後
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援教育と保育(実践)	1	2前
			教育課程論	2	2前
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	幼児教育の方法と技術	2	2前
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	1	1後
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談の基礎	2	2後
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習Ⅰ	2	1・2通年
			教育実習Ⅱ	3	2前
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼)	2	2後

備考

- 1 「教育原理」「保育者論」は「施行規則に定める科目区分等」の「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)を含む。」を含む。
- 2 「教育実習Ⅰ」は事前事後指導1単位含む。

3. 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目				
		授業科目	単位数		配当 年次	備考
			必修	選択		
大学が独自に設 定する科目	2	総合表現	2		2後	
		特別研究Ⅰ（音楽）		2	1通年	いずれか 1科目 選択必修
		特別研究Ⅰ（美術）		2	1通年	
		特別研究Ⅰ（健康）		2	1通年	
		特別研究Ⅰ（自然）		2	1通年	
		特別研究Ⅰ（子育て 支援・特別支援）		2	1通年	
		特別研究Ⅱ（音楽）		2	2通年	いずれか 1科目 選択
		特別研究Ⅱ（美術）		2	2通年	
		特別研究Ⅱ（健康）		2	2通年	
		特別研究Ⅱ（自然）		2	2通年	
		特別研究Ⅱ（子育て 支援・特別支援）		2	2通年	
		児童文学		2	2後	
		保育音楽Ⅰ	1		1前	
		保育音楽Ⅱ	1		1後	
		保育音楽Ⅲ	1		2前	
保育音楽Ⅳ	1		2後			

4. 教育職員免許法施行規則に定める科目区分第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目				
		授業科目	単位数		配当 年次	
			必修	選択		
教育職員 免許法施 行規則に 定める科 目区分第 66条の6 に定める 科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1後
体育	2	体育理論		1		1前
		体育実技		1		1後
外国語コミュ ニケーション	2	英語（口語表現）		1		1前
		英語（文書表現）		1		1後
情報機器の操 作	2	情報処理		2		1後

短期大学部専攻科保育専攻

幼稚園教諭一種免許状 ※幼稚園教諭二種免許状取得者対象

1. 領域に関する専門的事項及び領域及び保育内容の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目			
			授業科目	単位数		配当年次
				必修	選択	
領域に関する専門的事項	健康	4	保育健康特論		2	1前
	人間関係		保育人間関係特論Ⅰ		2	2
	環境		保育環境特論		2	2通年
	言葉		保育音楽特論		2	2通年
	表現		保育美術特論		2	2通年
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容研究「音楽」		2	1通年	
		保育内容研究「美術」		2	2通年	
		保育内容研究「運動」		2	1後	
		保育内容研究「言葉」		2	1前	

2. 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目			
			授業科目	単位数		配当年次
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	教育原理特論		2	2前
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）					

	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学特論 I	2		1前
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		子どもの特別支援と精神保健		4	2通年
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	—				
	幼児理解の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談特論		2	1後
教育実践に関する科目	教育実習	—				
	教職実践演習	—				

備考

- 「教育相談特論」は「施行規則に定める科目区分等」の「幼児理解の理論及び方法を含む」を含む。

3. 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目			
		授業科目	単位数		配当 年次
			必修	選択	
大学が独自に設 定する科目	12	表現法「音楽」		2	1通年
		表現法「美術」		2	1通年
		幼児教育課程特論	4		1通年
		子育て支援特論Ⅰ		1	1前
		子育て支援特論Ⅱ		1	1後
		日本語表現法		4	2通年

備考

- 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて8単位以上を修得すること。

